



このピンポジションに御用心

日頃コースを回っていて同じホールで3パットばかり、そんな経験ありませんか？
またアマチュアがいやだなと思っているピンポジションが意外にもやさしかったり等々今回の特集は、プロの目を見たグリーンにおける厄介なピンポジションについて攻略方法をまじえて解説して頂きました。コースへきたらまずピンポジションを確認し、同じところであれば是非実践してみてもいいのではないでしょうか。

NO.1



この位置の時の注意点は奥に外れるほどアプローチが寄りません。しかもパッティングも左右に切れそうに見えるので注意して下さい。

NO.2



左奥のピンは気を付けて下さい。グリーンを狙うショット時、無理をして突っ込んでいくと最悪OBまであります。ピンが奥でも真ん中を狙いましょう。手前からのパットは少し重いので注意して下さい。

NO.3



この難しいグリーンでこの位置にピンがあったら迷わず大き目に打って下さい。奥からのパットは早くて難しいのですが、右手のバンカーよりは易しいはずですよ。

NO.4



最難関のホール、このピンの位置が一番難しいと思います。左奥も難しいのですが、やっとオンしたのに3パット・4パットが続出するのはこの位置です。まず最初のパットを打つ時、一回で入れるという気持ちより、2パット目をどこから打つのかという事に集中して下さい。

NO.5



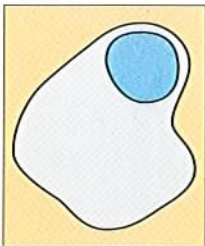
グリーンを狙うショットの時、少しすくなめに距離を計算した方が良いでしょう。手前から上がっているのですが、硬くて早いのでオーバーしやすくなります。段の下でも良いのでショート目に打つ事をお勧めします。

NO.6



この位置は非常に難しく、どの方向から打っても早くて切れるので、まず距離感を重視してパッティングして下さい。

NO.7



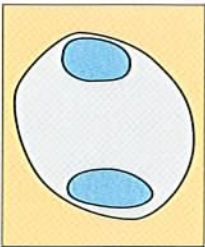
ピンが手前にある時は、さほど難しくなくパー5なのですが、奥の時は急に難易度が上がります。出来れば上の段まで打ちたいのですが3打目のライン・風の状況などを判断して、無理をしない方が良いでしょう。手前の段を越えてパッティングするときは、距離感に注意して下さい。

NO.8



ティーショットをあまり無理して左を狙いすぎない事、左に行き過ぎると、このピンの位置ですと、2打目が打てなくなってしまいます。1打目を打つ時にご注意を。

NO.9



このホールは難しいポジションを2ヶ所作りましたが、ティーショットはやや大き目で良いでしょう。真ん中に乗ったとしても手前は早く、奥は重いので注意して下さい。

NO.10



後半最初のホール、ここにあつたら要注意！右のマウンドの周辺は、アプローチもパッティングも難しいからです。できれば、ピンの左、グリーン中央を狙いましょう。パッティングは左、右奥から早いので注意してください。

NO.11



アプローチに気を付けて打たないといけないホールです。強すぎると左奥にこぼれ、弱いとバンカー、少し強めに右側を狙うか思い切って逆に左を狙いましょう。右に打つのは当たり前として、左の土手を使えばグリーンには乗りませんが、左側の打ち易い場所がキープできます。

NO.12



12番は左奥が難しいと思われがちですが、実際には右奥にピンがある時の方が大叩きしている事が多いのではないのでしょうか。左奥のピン周辺は以外と平らですから、ある程度の所までいくと安心できますが、この位置はカップインするまで安心できません。手前以外からパッティングする時は注意して下さい。カップをすぎるとどんどん加速していきます。

NO.13



このホールも奥の方が難しそうですが手前だとその分短い番手を使います。ご存知の通り左谷からの風の強いこのホールは、短い番手を持てば球は高く上がり、その分、風の影響を受けます。風向きには注意して下さい。パッティングも上からは早く、右からは切れるラインです。

NO.14



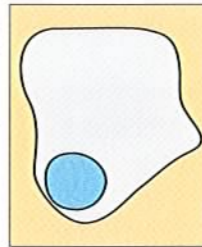
奥にある時は真ん中狙いです。突っ込んで行きたい所ですが、オーバーは罠が待っています。アプローチは早くて難しいし、最悪OBまであります。真ん中狙いで少し重めのパッティングをして下さい。

NO.15



このピンポジションも難解です。奥にはずせばアプローチは難しく、手前だと乗っても出てきてしまうし、グリーンも真ん中を境にして左右に傾斜しています。まず2打目のラインをよく見て下さい。良ければダイレクトに狙っても良いでしょうが、悪い場合手前をお勧めします。奥からのアプローチの方が大叩きの危険は多くなります。

NO.16



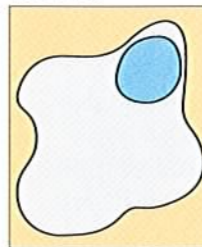
このホール程ピンを狙わない方が良い所もないと思います。この位置での2打目はほとんど寄りませんし、バンカーに入れたらほとんど寄りませんし、止まりませんので、センターあるいは、右奥を狙いましょう。そうすればパッティングも比較的楽でしょう。

NO.17



右奥の時は、やや左を狙うか、手前のバンカーでも良いと思えば楽になりますが、問題は左の奥の時です。手前側に乗れば左奥に早く、右横に乗って早く切れるラインです。カップ回り以外に大きく切れる事に注意して下さい。

NO.18



この位置にある時は、かなり大きく打ってもオーバーする事はあまりありません。グリーンも相当受けていますし、ライン的にも重い場所ですので思い切って打って行っても良いでしょう。基本は手前目ですが、横位置のショートパットは注意して下さい。思っているよりも大きく切れます。

全体的にいえますが、難しい位置にある時は、真ん中狙いが基本です。易しい位置はグリーンをはずしてもアプローチもそれほど難しくありませんが難しい位置でグリーンをはずすと、余計に難しくなってしまいます。その点に注意して下さい。何か解らない所や詳しく知りたい方は、気軽に声をかけて下さい。お答えします。



今年度も、栗原プロによるラウンドレッスンをを行います。もっと上達したい方、スイングやアプローチ等で悩んでいる方、一度レッスンを受けてみてはどうですか。今までの考え方が違っていたり練習方法を聞いたり等々、プロのレッスンを受けるのはなかなか機会がありません。この機会に是非ご利用下さい。料金等詳しくは、クラブ内掲示及びフロントまでお問い合わせ下さい。